



平成30年3月期 第3四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

平成30年2月13日

上場会社名 堀田丸正株式会社
コード番号 8105 URL <http://www.pearly-marusho.co.jp/>

上場取引所 東

代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 大西 雅美

問合せ先責任者 (役職名) 取締役常務執行役員管理本部長 (氏名) 矢部 和秀

TEL 03-3548-8139

四半期報告書提出予定日 平成30年2月14日

配当支払開始予定日 —

四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無

四半期決算説明会開催の有無 : 有 (平成30年2月14日開催予定 機関投資家・アナリスト向け)

(百万円未満切捨て)

1. 平成30年3月期第3四半期の連結業績(平成29年4月1日～平成29年12月31日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
30年3月期第3四半期	5,878	5.5	90	△1.0	89	△23.7	66	△30.7
29年3月期第3四半期	5,570	2.1	91	35.8	117	74.5	95	127.5

(注) 包括利益 30年3月期第3四半期 73百万円 (△15.8%) 29年3月期第3四半期 87百万円 (70.8%)

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
30年3月期第3四半期	1.48	—
29年3月期第3四半期	4.20	—

※平成28年10月1日を効力発生日として、当社普通株式2株を1株とする株式併合を行っております。前連結会計年度の期首に当該株式併合が行われたと仮定して、1株当たり四半期純利益を算定しております。

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
30年3月期第3四半期	6,865	4,713	68.7	83.81
29年3月期	4,460	2,821	63.3	132.82

(参考) 自己資本 30年3月期第3四半期 4,713百万円 29年3月期 2,821百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
29年3月期	—	0.00	—	5.00	5.00
30年3月期	—	0.00	—	—	—
30年3月期(予想)	—	—	—	4.00	4.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 平成30年3月期の連結業績予想(平成29年4月1日～平成30年3月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	7,500	0.2	111	28.3	110	1.2	75	△13.6	1.57

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

※平成29年6月28日付で第三者割当増資を実施し、新株式を発行しております。平成30年3月期通期の連結業績予想における1株当たり当期純利益につきましては、新株式発行後の株式数で算出しております。

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) : 無
新規 — 社 (社名) 、 除外 — 社 (社名)

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無
- ④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数(普通株式)

① 期末発行済株式数(自己株式を含む)	30年3月期3Q	59,640,348 株	29年3月期	24,640,348 株
② 期末自己株式数	30年3月期3Q	3,395,768 株	29年3月期	3,395,405 株
③ 期中平均株式数(四半期累計)	30年3月期3Q	45,044,784 株	29年3月期3Q	22,829,562 株

※平成28年10月1日を効力発生日として当社普通株式2株を1株とする株式併合を行っております。前連結会計年度の期首に当該株式併合が行われたと仮定し、期中平均株式数を算定しております。

※四半期決算短信は四半期レビューの対象外です

※業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

(将来に関する記述等についてのご注意)

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用に当たっての注意事項等については、添付資料P3「1. 当四半期決算に関する定性的情報 (3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	2
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記	4
(1) 四半期連結貸借対照表	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	6
四半期連結損益計算書	
第3四半期連結累計期間	6
四半期連結包括利益計算書	
第3四半期連結累計期間	7
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	8
(継続企業の前提に関する注記)	8
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	8
(セグメント情報等)	8

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第3四半期連結累計期間におけるわが国経済は、企業収益や雇用情勢の改善を背景に、景気は緩やかな回復基調で推移したものの、米国の政治動向や北朝鮮情勢への警戒感など、依然として先行き不透明な状況が続いております。

このような事業環境のもと、当社グループは、平成29年6月にRIZAPグループ株式会社の子会社となり、平成29年7月には洋装事業において百貨店取引を中心とした婦人服卸の馬里邑事業部を新設しました。既存事業では厳しい環境が続いておりますが、平成28年8月に事業譲受したイエリデザイン事業部や馬里邑事業部が寄与したことにより、売上高は58億78百万円（前年同四半期比5.5%増）、営業利益は90百万円（前年同四半期比1.0%減）、経常利益は89百万円（前年同四半期比23.7%減）、株式会社西田武生デザイン事務所の株式を売却したことによる関係会社売却益や投資有価証券売却益、事業所の統合及びシステムの統合に係る構造改革費用を計上した結果、親会社株主に帰属する四半期純利益は66百万円（前年同四半期比30.7%減）となりました。

セグメントの状況は次のとおりであります。

和装事業は、専門店取引は堅調に推移しましたが、百貨店取引は店舗閉鎖の影響や市況の悪化により低調に推移、和装小物の量販店取引も大手取引先の不振により売上高は減少しました。第2四半期までの大幅な営業赤字を改善すべく構造改革に取り組み、第3四半期会計期間では営業利益は改善し、営業黒字となりました。この結果、売上高14億69百万円（前年同四半期比12.0%減）、営業利益は9百万円（前年同四半期比64.0%減）となりました。

寝装事業は、ギフト販売は順調に推移しましたが、量販店・専門店取引は大手取引先の不振により売上高は減少しました。この結果、売上高4億38百万円（前年同四半期比8.0%減）、営業利益は19百万円（前年同四半期比21.5%減）となりました。

洋装事業は、平成29年7月に新設した馬里邑事業部が寄与し売上高、営業利益ともに大幅に伸びました。百貨店取引・専門店取引は堅調に推移、量販店取引はベビー子供服の大手得意先が好調に推移し売上高は増加しました。また、不採算部門の閉鎖、粗利率の改善、販管費の削減により営業利益は大幅に改善しました。この結果、売上高24億3百万円（前年同四半期比29.4%増）、営業利益は99百万円（前年同四半期比301.6%増）となりました。

意匠総糸事業は、既存の国内事業と中国事業は売上高が減少しましたが、横ニット企画卸事業は堅調に推移いたしました。原料の高騰により原価率が上昇し営業利益は減少となりました。この結果、売上高15億67百万円（前年同四半期比0.3%増）、営業利益は1億21百万円（前年同四半期比5.2%減）となりました。

(2) 財政状態に関する説明

(資産)

当第3四半期連結会計期間末における流動資産は59億52百万円となり、前連結会計年度末に比べ24億49百万円増加いたしました。これは主に現金及び預金が13億47百万円、受取手形及び売掛金が2億41百万円、商品及び製品が8億28百万円増加したことによるものであります。固定資産は9億13百万円となり、前連結会計年度末に比べ43百万円減少いたしました。これは主に長期貸付金が40百万円減少したことによるものであります。

この結果、総資産は68億65百万円となり、前連結会計年度末に比べ24億5百万円増加いたしました。

(負債)

当第3四半期連結会計期間末における流動負債は21億1百万円となり、前連結会計年度末に比べ5億33百万円増加いたしました。これは主に支払手形及び買掛金が7億16百万円増加し、短期借入金が1億95百万円減少したことによるものであります。固定負債は50百万円となり、前連結会計年度末に比べ19百万円減少いたしました。これは主に長期借入金が15百万円減少したことによるものであります。

この結果、負債合計は21億52百万円となり、前連結会計年度末に比べ5億13百万円増加いたしました。

(純資産)

当第3四半期連結会計期間末における純資産合計は47億13百万円となり、前連結会計年度末に比べ18億92百万円増加いたしました。これは主に新株式発行による資本金9億62百万円及び資本剰余金9億62百万円の増加と剰余金の配当1億6百万円によるものであります。

この結果、自己資本比率は68.7%（前連結会計年度末は63.3%）となりました。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

平成30年3月期の連結業績予想につきましては、平成29年5月15日付「平成29年3月期決算短信」にて公表した内容から変更はありません。

今後、業績予想に変更等の必要が生じた場合には、速やかにお知らせいたします。

なお、業績予想は、現時点で入手可能な情報に基づき作成しておりますが、実際の数値は今後様々な要因により予想数値と異なる結果になる可能性があります。

2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (平成29年3月31日)	当第3四半期連結会計期間 (平成29年12月31日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	488,209	1,835,652
受取手形及び売掛金	1,332,736	1,574,420
電子記録債権	181,311	207,021
商品及び製品	1,337,729	2,165,999
仕掛品	18,890	8,318
原材料及び貯蔵品	61,623	60,529
前払費用	39,304	24,008
短期貸付金	24,191	57
未収入金	16,487	18,570
未収消費税等	—	60,793
未収還付法人税等	18,051	—
その他	7,908	18,713
貸倒引当金	△23,178	△21,563
流動資産合計	3,503,269	5,952,523
固定資産		
有形固定資産	556,498	552,182
無形固定資産	22,942	23,096
投資その他の資産		
投資有価証券	83,999	79,826
長期貸付金	41,912	1,325
敷金及び保証金	72,720	67,589
破産更生債権等	60,359	60,746
長期前払費用	11,150	2,562
その他	170,908	189,615
貸倒引当金	△63,470	△63,578
投資その他の資産合計	377,580	338,088
固定資産合計	957,021	913,367
資産合計	4,460,291	6,865,890

(単位：千円)

	前連結会計年度 (平成29年3月31日)	当第3四半期連結会計期間 (平成29年12月31日)
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	766,257	1,482,942
電子記録債務	293,120	367,259
短期借入金	195,000	—
1年内返済予定の長期借入金	47,760	29,270
リース債務	5,086	4,857
未払法人税等	39,248	13,682
未払消費税等	17,199	5,447
賞与引当金	12,000	5,660
返品調整引当金	33,308	24,209
前受金	9,700	—
その他	149,917	168,553
流動負債合計	1,568,599	2,101,883
固定負債		
長期借入金	15,080	—
長期未払金	34,899	31,910
リース債務	7,087	3,518
繰延税金負債	12,245	14,762
資産除去債務	635	—
固定負債合計	69,948	50,191
負債合計	1,638,548	2,152,074
純資産の部		
株主資本		
資本金	1,975,070	2,937,570
資本剰余金	273,652	1,236,152
利益剰余金	923,603	883,821
自己株式	△389,421	△389,557
株主資本合計	2,782,904	4,667,986
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	27,306	33,450
為替換算調整勘定	11,531	12,380
その他の包括利益累計額合計	38,837	45,830
純資産合計	2,821,742	4,713,816
負債純資産合計	4,460,291	6,865,890

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書
 (四半期連結損益計算書)
 (第3四半期連結累計期間)

(単位：千円)

	前第3四半期連結累計期間 (自平成28年4月1日 至平成28年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自平成29年4月1日 至平成29年12月31日)
売上高	5,570,964	5,878,681
売上原価	3,751,588	4,005,236
売上総利益	1,819,376	1,873,444
販売費及び一般管理費	1,727,915	1,782,871
営業利益	91,460	90,573
営業外収益		
受取利息	1,352	451
受取配当金	2,599	2,361
受取賃貸料	5,603	12,716
為替差益	16,672	5,986
助成金収入	7,800	—
その他	2,320	2,018
営業外収益合計	36,347	23,535
営業外費用		
支払利息	4,169	2,461
手形売却損	1,091	911
賃貸費用	4,406	6,544
株式交付費	—	9,450
その他	286	4,763
営業外費用合計	9,953	24,130
経常利益	117,854	89,978
特別利益		
関係会社株式売却益	—	25,642
投資有価証券売却益	—	16,890
投資有価証券清算益	7,961	—
特別利益合計	7,961	42,532
特別損失		
構造改革費用	—	54,485
特別損失合計	—	54,485
税金等調整前四半期純利益	125,815	78,026
法人税、住民税及び事業税	29,897	11,778
法人税等調整額	0	△194
法人税等合計	29,898	11,583
四半期純利益	95,917	66,442
親会社株主に帰属する四半期純利益	95,917	66,442

(四半期連結包括利益計算書)
 (第3四半期連結累計期間)

(単位：千円)

	前第3四半期連結累計期間 (自平成28年4月1日 至平成28年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自平成29年4月1日 至平成29年12月31日)
四半期純利益	95,917	66,442
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	7,016	6,143
為替換算調整勘定	△15,705	848
その他の包括利益合計	△8,688	6,992
四半期包括利益	87,228	73,434
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	87,228	73,434

(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

当社は、平成29年6月28日付で、RIZAPグループ株式会社から第三者割当増資の払込みを受けました。この結果、当第3四半期連結累計期間において資本金が962,500千円、資本準備金が962,500千円増加し、当第3四半期連結会計期間末において資本金が2,937,570千円、資本剰余金が1,236,152千円となっております。

(セグメント情報等)

【セグメント情報】

I 前第3四半期連結累計期間(自平成28年4月1日至平成28年12月31日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:千円)

	報告セグメント					その他 (注)1	合計	調整額 (注)2	四半期連結 損益計算書 計上額 (注)3
	和装事業	寝装事業	洋装事業	意匠燃糸事業	計				
売上高									
(1) 外部顧客に対する売上高	1,669,610	476,259	1,857,457	1,563,779	5,567,106	3,858	5,570,964	—	5,570,964
(2) セグメント間の内部売上高又は振替高	—	—	—	—	—	18,900	18,900	△18,900	—
計	1,669,610	476,259	1,857,457	1,563,779	5,567,106	22,758	5,589,864	△18,900	5,570,964
セグメント利益	25,949	25,264	24,773	128,460	204,447	3,637	208,085	△116,624	91,460

(注) 1. 「その他」区分は、報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、人材派遣事業及びブランドデザイン企画業を含んでおります。

2. セグメント利益の調整額△116,624千円には、セグメント間取引消去63,687千円、各報告セグメントに配分していない全社費用△180,311千円が含まれております。全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない一般管理部門経費であります。

3. セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と一致しております。

II 当第3四半期連結累計期間(自平成29年4月1日至平成29年12月31日)
報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:千円)

	報告セグメント					調整額 (注)1	四半期連結 損益計算書 計上額 (注)2
	和装事業	寝装事業	洋装事業	意匠捺糸事業	計		
売上高							
(1) 外部顧客に対する売上高	1,469,546	438,249	2,403,162	1,567,722	5,878,681	—	5,878,681
(2) セグメント間の内部売上高又は振替高	—	—	—	—	—	—	—
計	1,469,546	438,249	2,403,162	1,567,722	5,878,681	—	5,878,681
セグメント利益	9,339	19,822	99,496	121,741	250,399	△159,825	90,573

- (注) 1. セグメント利益の調整額△159,825千円には、セグメント間取引消去35,967千円、各報告セグメントに配分していない全社費用△195,792千円が含まれております。全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない一般管理部門経費であります。
2. セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と一致しております。
3. 洋装事業の棚卸資産が前連結会計年度の末日より840,620千円増加しております。
4. 「その他」に区分していたブランドデザイン企画業は、平成29年6月26日付で全株式を売却しております。また、人材派遣事業は重要性が乏しくなったため「調整額」に含めております。